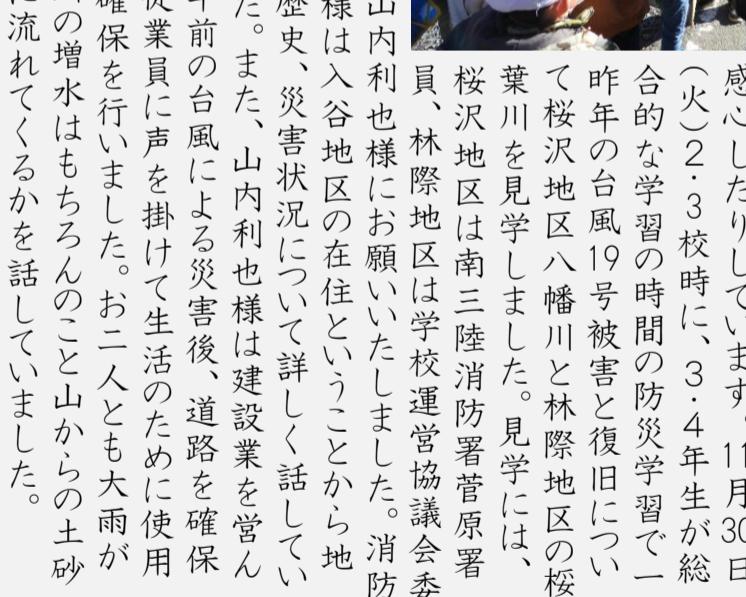


12月3日(金)午前9時より、5年生の総合的な学習の時間「過去から学ぶ入谷の防災」の学習で林際地区の現地調査を行いました。講師には林際地区在住の佐藤正明様にお願いして、一昨年度10月にあった水害のことを中心に過去にあった土砂災害と地域住民がどのような対策をしてきたか、復旧や生活再建のためにどのように努力を重ねてきたかを話していました。未来を担う子供たちに、「愛する入谷」について伝えていただきました。

入谷を語り継ぐ



どんな模様が描けたかな



固い地域の結束力

入谷小学校
佐々木裕作校長南三陸消防署
佐々木敦署長総務課危機対策係
小野寛和係長

山内敏裕会長

12月3日(金)午後6時30分より今年度2回目の入谷地区防災教育推進委員会が開催されました。会議には、入谷地区行政区長をはじめ役場、総務課、教育委員会、南三陸消防署、消防団、婦人防火クラブ、公民館、学校関係者等が出席して行われました。会議では、今年度の入谷小学校の防災教育についての発表がありました。コロナ禍でありますが、一昨年度までの活動に戻りつあり、来年度の計画が立てられています。役場からは、町の防災訓練が今年度は11月から2月上旬に行われる予定であることが話されました。消防署からは、今年度の町内の火災発生状況と住宅用火災警報器の交換時期について注意があります。年末でもあり夕方の忙しい時間が帯にもかかわらず、ほとんどの委員が出席して行われ、入谷地区の防災に対する意識の高さを感じられる会議となりました。

大雨の後には…

「えー、こんなに崩れているんだ。」「川の端がブロックやコンクリートで固められてるよ。」と実際の場所を見学して子供たちが驚いたり、感心したりしています。11月30日(火)2・3校時に、3・4年生が総合的な学習の時間の防災学習で一度桜沢地区八幡川と林際地区の桜葉川を見学しました。見学には、桜沢地区は南三陸消防署菅原署員、林際地区は学校運営協議会委員もある山内利也様にお願いいたしました。消防署員の菅原様は入谷地区の在住ということから地元の地形や歴史、災害状況について詳しく話していました。消防署員に声を掛けて生活のために使用する道路の確保を行いました。お二人とも大雨がどのように流れてくるかを話していました。

11月26日(金)2・3校時5年生が岡工の学習で八幡神社の境内に行きました。「地球は大きなヤンバスだ」ということでイチョウの葉を集めています、いろいろな形を作り、地面に表しました。八幡神社の榎美江様に協力をいただきました。



おいしくな～れ！

菅原悦子 様 佐藤貞美 様

「この味噌おいしくできるかな?」「味見したらすごくうまい。」3年生の子供たちの声が、家庭科室から聞こえています。12月1日(水)は、総合的な学習の時間「保存食を知ろう」の学習で味噌づくりの『天地返し』を作りました。「天地返しをなぜ行うのか」「うまい味噌をどのようにして作るか」などのお話を聞きながら、だんご状にした味噌を樽から樽へと移し換えていました。心を込めて作った味噌、きっと美味しい味噌ができると思います。

第39号
発行元
入谷小CS推進
委員会編集部



ホームページへのQRコード

佐藤貞美様に来校していただき作り方を教えていただきました。「天地返しをなぜ行うのか」「うまい味噌を作るために、この作業は欠かせない。」などのお話を聞きました。「天地返しをなぜ行うのか」「うまい味噌を作ります。12月1日(水)は、総合的な学習の時間を行いました。当日、外部の講師として菅原悦子様、